

MESSE INFORMATION



Deutsche Messe
Hannover · Germany

ドイツ産業見本市日本代表部 〒164-0003 東京都中野区東中野2-22-21 ロータスステージ2F (株)ジェービーエス内
Tel : 03-3363-6631 Fax : 03-3363-7582 http : //www.hannovermesse.co.jp

HM2007-10
ドイツ産業見本市日本代表部
2007年5月



国際産業技術見本市

「ハノーバー・メッセ 2007」結果報告

「ハノーバー・メッセ07」は景気回復を実証

- ビジターは10%以上の増加
- 投資プランを数十億ユーロ創始
- 世界最大の技術コンベンションとしての重要性を確立
- 出展社は成果に大満足
- 特別展「TectoYou」が若者に大人気

世界最大の産業見本市「ハノーバー・メッセ2007」はドイツ・ハノーバー国際見本市会場で、去る4月16日より20日までドイツ産業見本市株式会社(社長/ゼップ・D・ヘックマン)の主催により開催され、盛況の内に閉幕した。今回の「ハノーバー・メッセ」には、世界62カ国より6,400社(前回5,175社)が総小間展示面積225,000平方メートル(前回155,000㎡)で、25館を使用して出展した。世界各国からのビジターは230,000人(前回155,500人)に上った。

日本からの直接出展社は計74社で、以下の通り。(現地法人・代理店申し込み含まず)

大同通商(株)、(財)岐阜県研究開発財団、三菱樹脂(株)、鍋屋バイテック会社、(財)岡山県産業振興財団、(株)英田エンジニアリング、(株)E・G・T、(株)エース、エーテック(株)、オーティス(株)、倉敷ボーリング機工(株)、津山ステンレスネット、岡山県都市エリア事業推進室、(株)日本ステントテクノロジー、明大(株)、(株)メイト、(株)モモ・アライアンス、ユアサ工機(株)、ゼノー・テック(株)、メカトロリンク協会、(株)パトライト、(株)ティ・アンド・ディ、(株)東芝、竹内精工(株)、特許庁、大倉電気(株)、愛知時計電機(株)、田中貴金属工業(株)、東陶フロンティアリサーチ(株)、〔独〕日本貿易振興機構、仙台市、(株)メムスコア、(株)イデアルスター、(独)産業技術総合研究所、〔独〕中小企業基盤整備機構、艶金興業(株)、松山毛織(株)、(株)野村染工、岡山工芸、丸八(株)、オザワ繊維(株)、(有)藍布屋、池内タオル(株)、(株)ほんやら堂、(株)ケーイーエフ、(株)メトラン、(株)榛原、大丸産業(株)、盛和工業(株)、湘南技術センター(株)、(株)信光社、ステラ技研(株)、(株)サンメック、(株)TRINC、福井ファイバーテック(株)、葵機工(株)、ライフケア技研(株)、北斗科学産業(株)、(株)東洋高圧、(株)アドテックプラズマテクノロジー、(株)ジャスト東海、和晃技研株式会社、(株)パールトーン、(株)中農製作所、(株)ゼロエミッション、(株)荏原製作所、松下電器産業(株)、(財)マイクロマシンセンター、三菱電機(株)、日本トムソン(株)、オリンパス(株)、オムロン(株)、栄通信工業(株)、神鋼電機(株)

「ハノーバー・メッセ」は今回も、世界で最も重要なリーディング技術イベントとしての定評を確認させるものであった。すべての展示ホールで、積極的なイノベーションや具体的な投資意欲を感じる事ができた。主要な産業分野を代表する出展社は、最もダイナミックな環境にあって、新技術や製造プロセスの将来に目標を定めている。「ハノーバー・メッセ07」におけるビジター数の記録や、新製品やプロセスの数は、出展社とビジターの予想を上回るものであり、世界市場のイノベーションプラットフォームであることを印象づけた。

ドイツ産業見本市株式会社のゼップ・ヘックマン社長はこう述べている。「『ハノーバー・メッセ』は、数十億ユーロの資本投資を軌道に乗せたことによって、経済に刺激を与え、分野に新たな自信を回復させることができ、すべての分野で将来への展望と挑戦への意欲を実感できた。」さらに、「『ハノーバー・メッセ』が世界で最も重要なテクノロジーイベントであることを改めて印象づけることになり、またドイツ経済にとっては不可欠の輸出の原動力であることも実証することが出来た。」

「ハノーバー・メッセ」は、また、国際市場の開拓を重要な工業会と連携しながら進め、ドイツ産業を維持する重大な役割を担っている。

ドイツ産業連盟(BDI)会長のユルゲン・トゥーマン氏は述べている。「革新的なドイツ製品に対する国際的に大きな需要は、『ハノーバー・メッセ』で再び確認された。このドイツ経済における明白な上昇をより長期にわたる経済成長にするためには、適切な経済政策、つまり、構造改革政策が必要である。」

ドイツ機械工業連盟(VDMA)専務理事のDr. ハネス・ヘッセ氏によれば「『ハノーバー・メッセ07』は、既にあったドイツ機械・プラントの上昇ムードを明らかに更に高めた。受注簿は更に満杯となった。われわれの分野にとって、『ハノーバー・メッセ』は、世界中から集まる顧客とテクノロジー、将来の製造プロセスおよびイノベーショントレンドを話し合うことができるミーティングの場である。」ということである。

ドイツ電子・電気工業会(ZVEI)専務理事のゴットハード・グラス氏は述べた。「ドイツの電気工学および電子産業の企業のほとんどが、『ハノーバー・メッセ07』へかけた大きい期待を完全に満たされた。」

ビジターが増加

「ハノーバー・メッセ07」を訪れたビジターは230,000人以上にのぼり、非常に満足できる結果となった。前々回の奇数年である2005年と比較しても、ビジター数は10%以上も増えている。この内、ドイツ国内からは12%、ドイツ以外の外国からは8%のビジターが増加した。特に、ドイツのバイエルン州とバーデンヴェルテンブルグ州からは14%もの増加があった。外国からのビジターでは、特にアメリカと東ヨーロッパからが増加した。外国人ビジターの割合は約30%に上った。この内、ビジターが最も多かった6カ国は、インド、オランダ、トルコ、スウェーデン、デンマーク、イタリアである。分野別に見ると、特に機械製造、電気工学およびエレクトロニクス、食品および嗜好品産業からのビジターが増加している。今年初めて「ハノーバー・メッセ」を訪れたビジターは73,000人に上っており、多くの新規のターゲットグループを獲得することに成功することができた。購入および調達の決定権者は約30%に増加して21,000人に達した。

「ハノーバー・メッセ07」を訪れるビジターのメインの訪問目的としては、42%が最新の製品・技術のキャッチアップを挙げており、「ハノーバー・メッセ」がイノベーション技術のための世界に冠たるプラットフォームであることがさらに確認された。5日間にわたる見本市期間中には、550万のビジネスコンタクトが獲得された。「ハノーバー・メッセ07」でのビジターアンケートで最も高く評価されたのは、展示品の豊富さと国際性、それにマーケットリーダーの出展参加であった。

グローバル市場へのゲートウェイ

ビジター側よりも以上に、出展社の国際性は高い。合計6,400社の出展社のうち3,222社が61カ国からの企業であった。外国出展社の割合が50%以上に達したことにより、今回の「ハノーバー・メッセ」は、60年にわたる歴史のなかでも最も国際性が高い見本市となった。出展社が最も多かったのはヨーロッパ、続いてアジア、アメリカであった。ドイツ以外からの最多出展社国は、イタリア、中国、そして今年のパートナーの国「トルコ」であった。「ハノーバー・メッセ」は世界中の企業にとって、世界市場へのゲートウェイであり、ハノーバーとは、グローバル化が実現するところである。

エネルギー効率にフォーカス

「ハノーバー・メッセ07」の重点テーマとして定められていた専門見本市は完全に目的を達成することができた。重点テーマとは、エネルギー技術、産業オートメーション、パワートランスミッションおよび研究開発の分野である。これにより「ハノーバー・メッセ」は、将来の技術トレンドのバロメーターおよび指標の役割を明確にしたことになる。

効率的な「エネルギー」のテーマは、産業全体を貫く重要テーマとして、多くの商談や特別展でも取り上げられ、解決法も多数紹介された。エネルギーの責任ある、効率的な利用は、出展社とビジター双方にとって急務の問題である。この国際エネルギー専門見本市は、ここ数年でますます拡大してきた。エネルギー専門見本市を展示の重点としている世界で唯一の見本市として、ハノーバーでは新しい代替エネルギーと従来のエネルギーの全容が展示された。会場ではこれを好機として、業界の代表者たちにより、ブースでの展示あるいは併催フォーラムや会議で、共通の対話として取り上げられた。エネルギー部門でのハイライトは特別展「世界エネルギー対話」であり、よりよいエネルギー効率の方法について、エネルギー分野における政治・経済界および研究部門の世界的エリートによる話し合いが行われた。専門家たちによる結論としては、グローバルなソリューションのみがエネルギー問題の解決と挑戦に対応できるということであった。エネルギー節約の潜在性を明らかにし、有効利用をし、成長と繁栄に加えて地球の気候を維持するには、各国の共通の努力および技術進歩によってのみ可能となる。ゼップ・ヘックマン ドイツ産業見本市株式会社社長はこう語った。「『世界エネルギー対話』で明確になったのは、我々には気候を維持するための長期戦略を開発し、それによる政策転換を喚起するインスツルメントがあるということであった。すなわち、技術とノウハウを持っているのである。産業には気候にやさしいエネルギー供給のためのソリューションも製品も存在している。」

「駆動技術」においても、エネルギー効率は核心的なテーマとして定着している。「モーション、ドライブおよびオートメーション」専門見本市では、電気、空圧および油圧駆動による最適なエネルギー利用のための進展とイノベーションが展示された。効率的な駆動は費用を節約するということが、投資決定の基準としてますます考慮されるようになっていく。

「自動化技術」においても、高い効率は同様に焦点となっていた。ここでのトレンドテーマは、コミュニケーションおよびセキュリティであった。この他に、「プロセス自動化」のライブのプレゼンテーションが大いに注目を集めた。イノベーション市場「研究開発およびテクノロジー」では、素材と表面の特性を有する新しい複合素材や、またアダプトロニクスおよびバイオニクス分野からのテクノロジーが注目を集めた。「ハノーバー・メッセ」は、技術移転を促進し、企業と開発者を結びつけるものである。

更新育成のための特別展がスタート

特別展「Tecto You」は新しい教育および情報プログラムで、若者にテクノロジーへの感動を味わってもらうためのものである。ドイツ産業見本市株式会社とドイツ産業連盟（BDI）、および企業、工業会、政界からのパートナーとの共同取り組みとして、スタートから大成功を収めた。全ドイツから集まった学生はこの機会を利用して、テクノロジーを身近に体験し、将来の仕事への情報を得るために努めた。ゼップ・ヘックマン ドイツ産業見本市株式会社社長は語った。「若者がこのように感動し、テクノロジーに非常に大きい興味を示してくれたことは、当社にとって望外な喜びであった。これらの若者は、ハイテク立国ドイツの未来である。『Tecto You』は、そのような若者を必要としているからこそ構築されたものである。」

出展社も又「Tecto You」に大きい関心を寄せ、協力を惜しまなかった。募集した学生をチャーターしたバスで見本市会場へ運んで参加させた出展企業も何社かあった。例えば、ボッシュ・レックスロート社が1,600人、ケーザー社が550人、シーメンス社が500人、リッター社は450人の学生をこうして招待した。さらに、この後進育成のための取り組みに幅広い支援があった。出展社委員会会長で、ハーティング社社長のディートマー・ハーティング氏は述べている。「『Tecto You』を立ち上げる情熱が11号館に止まらず広い成功を収めたということは、出展社委員会としても喜びに耐えない。展示ホールやスタンドは若者であふれていた。私個人としても、若者が好奇心いっぱい、素直に新しい技術と出会っており、様々な質問を寄せてきたことが印象的であった。」

世界最大のテクノロジー会議

「ハノーバー・メッセ」は、世界で唯一の最重要な見本市として、政治と経済間の対話のための理想的なプラットフォームでもある。「ハノーバー・メッセ07」のオープニングでは、アンゲラ・メルケル ドイツ首相および「パートナーの国」であるレジェップ・タイプ・エルドアン トルコ首相が共に開会宣言をしたが、そのほかにも多数のドイツ閣僚、ドイツ大統領、州首相、市町村の代表が会場を訪れて、最新のイノベーション像を把握すべく出展社との話し合いに精を出した。このような機会は他の国からの多くの政治家や視察団も活用し、さらにほとんどすべての産業立国からも代表が視察に訪れた。

1,000以上のイベントを併催した今年の「ハノーバー・メッセ」は、世界最大のテクノロジー会議であった。この中には、800名の参加者があった「ドイツ・トルコ ビジネス サミット」がある。さらに、二国間および国際的な経済関係にはずみをつける、シベリア・ビジネスシンポジウム、ドイツ・ウクライナ ビジネスシンポジウム、日独ビジネスフォーラム、アフリカ地中海沿岸諸国の代表が参加する第4回ニーダーザクセン州貿易シンポジウムも開催された。第4回ウーマンパワー特別シンポジウムは550名以上の参加者を集め、仕事と家族と協調、ワークライフのバランスおよび新しい労働時間の見直しなどを討論し、大盛況を呈した。

「パートナーの国」はトルコ

今年の「パートナーの国」トルコは、国際的産業を相手に強い革新的技術と貿易パートナーとしての自国を紹介した。「ハノーバー・メッセ07」に出展参加したのは計326社で、26号館の中央パビリオン、その他の多様な分野の共同ブースで、様々なテーマを紹介した。そのため、どこに行ってもトルコの出展社が目につくほどであった。この共同展示は、ドイツとトルコ双方にとって政治経済的にも非常に重要な意義を有するものである。トルコからのVIPゲストは、アリ・コスクン産業貿易大臣及びM.ヒイリミ・ギュラーエネルギー大臣であり、さらに政界、財界、ビジネス界の代表者がハノーバーを訪れた。

2008年の展望

「ハノーバー・メッセ」では、2008年もエネルギー効率のテーマが焦点となる。『エネルギー』および『パイプライン テクノロジー』専門見本市のシステムティックな発展として、今回は新規の専門見本市『パワープラントテクノロジー』が補完される。この新専門見本市『パワープラントテクノロジー』は、急速に成長発展している中規模の地方発電所へのコンポーネント供給市場を対象にするものである。

新しい見本市政策

今年のエネルギーの重点テーマは、風力エネルギーであった。将来は、この風力エネルギーは2年周期でハノーバーとフーズムで交互に開催されることになる。この決定は、ドイツ風力エネルギー連盟と工業会(VDMA)の支援により、ハノーバー、フーズム及びハンブルグの見本市会社の合意によるものである。長期にわたる討議と出展社の要望により、建設的な結果を成功裏にもたらす事が出来た。

次回「ハノーバー・メッセ08」のパートナーの国は「日本」である。ロシア、インドそしてトルコに続いて、世界をリードするハイテク国の一つ、日本が来年のパートナーの国となる。この催しのモットーは「イノベーションによる協力(Cooperation through innovation)」である。このパートナーシップの礎石となったのは、今年一月ベルリンで行われたDr. アンゲラ・メルケル ドイツ首相と安倍晋三首相の間の最高政治レベルでの同意である。

回次の「ハノーバー・メッセ2008」の開催は、4月21日(月)～25日(金)に開催される。

以上

【お問い合わせ】

ドイツ産業見本市日本代表部

〒164-0003 東京都中野区東中野 2-22-21 ロータスステージ 2F

電話:03-3363-6631 Fax:03-3363-7582 info@hannovermesse.co.jp www.hannovermesse.co.jp